

県精連 ハートメッセージ

特定非営利活動法人 神奈川県精神障害者地域生活支援団体連合会
〒254-0026 神奈川県平塚市中堂 4-29 2F

助成事業の概要

当会では、「ハートメッセージ〇〇」と題し、毎年神奈川県内（横浜市、川崎市を除く）市町村を巡り、精神障害当事者の方々の体験や、文化活動の発表会、事業所で当事者が作った製品等の展示販売会を開催しています。当会は同じ障害を持つ仲間への励まし、地域における精神障害への偏見をなくしていくための啓発を目的として開催するとともに、精神障害者の地域生活を支援する支援者にとっても、当事者の方々の声を聞くことができる大切な場となっています。

今年度のハートメッセージは「ありのままに今伝えよう私たちの声！」をテーマに平成 26 年 11 月 28 日（金）に鎌倉市の鎌倉芸術館小ホールにて開催いたしました。開催にあたっては数ヶ月前から当会研修委員会と鎌倉市、逗子市、葉山町の会員事業所の利用者とスタッフで実行委員会を組織し準備を進めてきました。

開催にあたっては、鎌倉市、逗子市、葉山町及び 3 市町の社会福祉協議会やボランティア団体、家族会等の後援をいただきました。

事業の成果

11 月 28 日（金）のハートメッセージ開催当日は県内各所から精神障害当事者、家族、従事者、鎌倉市長をはじめとする行政機関関係者、ボランティア、その他県民の方々など約 280 名のご参加をいただきました。開会に先立って、鎌倉市内にある青い麦の家・麦の穂の利用者、スタッ

フによるミュージックベルの厳かな演奏でオープニングを飾っていただきました。開会式では実行委員である障がい当事者 2 名の司会のもと、当会理事長の開会のあいさつに始まり、鎌倉市松尾崇市長にあたたかいご挨拶をいただきました。体験発表では 8 名の精神障がい当事者の方々に貴重な体験をお話ししていただきました。統合失調症やうつ病など病気や障害、入院生活、薬で苦労したこと、事業所やそこで出会った仲間のこと、結婚、子供、家族、地域での生活や仕事などを話していただきました。会場からは一人ひとりの発表ごとに多くの声援と拍手をいただきました。会の途中では、障がい当事者の方々によるハーモニカ演奏やピアノとギター演奏、ダンスを発表していただき、会場を大いに盛り上げていただきました。また、会場外のロビーでは事業所の自主製品販売や活動が紹介され多くの方で賑わいました。

当会は県内に在住する精神障がい者の方々が、病気と闘い、障がいを抱えながら生きてきた道のりや将来の夢を語り、あわせて事業所の文化活動の発表を行うことにより、同じように障がいを持つ方々の励ましと連帯意識を深めることにより、ピアサポートやエンパワーメントにつながりました。また一般県民の方々への啓発として障がい者への偏見を無くすことや、障がいへの理解を深め、そして障がいのあるの方々へ地域生活支援をしている精神保健福祉関係者にとって当事者の声を直接聞くことで支援のあり方を考える貴重な機会となりました。

また、この会で発表された内容は記録報告集として精神障がい当事者が通所している事業所で印

刷製本され、会員事業所、関係機関団体等に配布しました。

■ 成果の広報、公表

ハートメッセージ 2014 in 鎌倉の内容・成果については、当日の進行表、開会式での当会理事長挨拶、鎌倉市長挨拶、各体験発表者の原稿、アトラクション内容、閉会の挨拶、アンケート集計結果等を編集した「県精連体験発表会 ハートメッセージ 2014 in 鎌倉 記録報告集」としてまとめました。鎌倉市内の青い麦の家（就労継続支援B型事業所）・麦の穂（地域活動支援センター）に 300 部印刷製本を依頼し、県精連会員の全事業所、当会の後援団体である鎌倉市、逗子市、葉山町と各市社会福祉協議会、家族会、ボランティア団体、発表された当事者等に配布しました。今後、県精連ホームページにも当会の内容を掲載する予定です。また、来年度開催予定をしている県央地区の市町村には、記録報告集や映像にて当会について広報して参ります。詳細については記録報告集をご参照ください。

■ 今後の展開

精神障がい者が地域で安心して暮らしていける社会を作るにはその地域で暮らしている住民一人ひとりが精神障害や心の病気について少しでも理解していただく必要があります。精神障がい者は長い歴史の中で偏見や差別を受けてきたという事実があります。この偏見や差別を拭い去るには辛抱強い働きかけをしていかなければなりません。

県精連ハートメッセージは地域で生活している精神障がい者がご自分の体験を直接に語る貴重な機会です。ご自分の病気のことや辛かった経験を多くの人の前で話すことは大変な勇気と覚悟のいることです。しかしこの勇気と覚悟によって精神

障がい者の本当の姿が伝わり、また同じく精神障がいを持った人たちに生きる勇気を与えるのだと思います。県精連では今後も精神障がいの理解のために当会を継続して開催していくとともに、当事者の主体性を活かし、社会参加を推進するための活動をしていきます。なお来年度は、県精連ハートメッセージを神奈川県県央地区で開催を予定します。